

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート
栗宮・緑の健康づくりの森周辺地区

令和元年2月

栃木県小山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	小山市	地区名	粟宮・緑の健康づくりの森周辺地区			面積	1269.3ha.
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成31年度	交付対象事業費	2,134.2百万円	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】市道30号線ほか9路線 【公園】東雲公園 【地域生活基盤施設】小山思いの森・粟宮第一公園						
		提案事業	健康医療介護総合支援センター整備事業						
	新たに追加した事業		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】粟宮新規道路B	地権者との協議に日数を要し、現計画期間内での整備に着手できないため削除。		指標1・指標4に関連するが、新たに追加した事業によりアンケート調査にて得られる目標値に著しい変化がないと考えられることから数値目標を据え置く。			
提案事業		なし							
新たに追加した事業	基幹事業	【道路】3127号線	新市民病院整備事業に伴い、病院利用者がスムーズに当施設内を利用出来るよう、利便性及び安全性に配慮するため追加。		指標1・指標3・指標4に関連するが、当初計画から削除した事業によりアンケート調査にて得られる目標値に著しい変化がないと考えられることから数値目標を据え置く。				
	提案事業	なし							
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
	変更	平成 年度～平成 年度							

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	安全に歩くことができる住環境に対する満足度	%	6.7	H24	56.3	H29	-	22.6	△	あり なし ●	狭隘道路の拡幅や新設道路の整備を実施することにより、満足度の改善を図ることができたが、目標値までは達成できなかった。	-
指標2	健康づくり活動が行える施設に対する満足度	%	14.8	H24	55.3	H29	-	24.9	△	あり なし ●	公園等の施設整備を実施することにより、満足度の改善を図ることができたが、目標値までは達成できなかった。	-
指標3	医療施設等への満足度	%	12.0	H24	75.6	H29	-	41.8	△	あり なし ●	整備計画に基づく道路や新市民病院の整備を実施することにより、満足度の改善を図ることができたが、目標値までは達成できなかった。	-
指標4	安心して暮らせる住環境に対する満足度	%	13.3	H24	59.3	H29	-	27.2	△	あり なし ●	本整備計画事業を実施することにより、住環境に対する満足度の改善を図ることができたが、目標値までは達成できなかった。	-

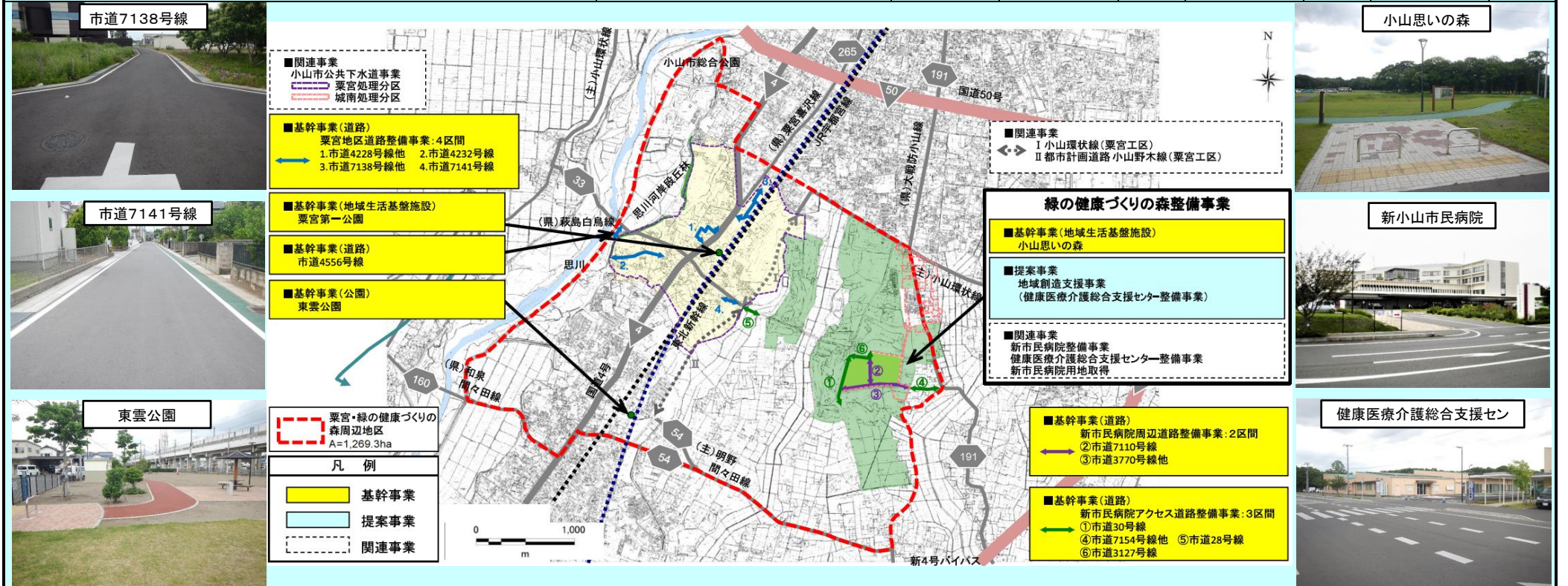
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	救急車搬送患者数	人	2,629	H24	/			4,363人	/	/	新市民病院、関連施設、周辺のアクセス道路の整備により、救急患者の受入数が約1.7倍と増加した。	
その他の数値指標2	人間ドック等受診者数	人	888	H24	/			2,309人	/	/	新市民病院、関連施設、周辺のアクセス道路の整備により、各種ドックの受診者数が約2.6倍と増加した。	
その他の数値指標3	粟宮まちづくり構想図に記載されている狭隘道路整備状況	m	3,950	H24		5,690		5,690	/	/	まちづくり団体と共働にて地域住民の意向を反映した構想図内の事業路線を整備することができた	

4) 定性的な効果 発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動の結果として生活環境の向上が図られるということから、住民のまちづくりに対する関心・意欲が向上した。 ・まちづくり活動の結果として生活環境の向上が図られるということから、地域住民のまちづくりに対する関心・意欲が向上し、まちづくりエリアの拡大や新たなまちづくり団体ができるなどの効果があった。 ・行政と地域住民との信頼関係をができ、まちづくりに参加する住民が増えた。 						
5) 実施過程の評価	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
	住民参加 プロセス	粟宮地区まちづくり推進協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	「粟宮新都心基本計画」及び「粟宮地区まちづくり構想」の実現に向けて、市民との共働によるまちづくりを推進する。住民主体のまちづくり活動に対する必要な支援を行う。		
	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
	持続的なまちづくり 体制の構築	粟宮地区まちづくり推進協議会の活動支援、同協議会との意見 交換及び調整	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●		粟宮地区まちづくり推進協議会の活動支援、意見交換及び調整を継続的に実施していく。	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

栗宮・緑の健康づくりの森周辺地区(栃木県小山市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
目標: ~みんなが元気でいきいきと暮らせる「健康都市おやま」の実現に向けて~ 目標1: 市街地内の道路整備を推進し、安全に歩くことができる良好な住環境づくり 目標2: 保健・健康づくり・福祉・医療・介護の総合的な連携のとれた環境づくり	安全に歩くことができる住環境に対する満足度 単位: %	6.7 H24年度	56.3 H29年度	22.6 H31年度
	健康づくり活動が行える施設に対する満足度 単位: %	14.8 H24年度	55.3 H29年度	24.9 H31年度
	医療施設等に対する満足度 単位: %	12.0 H24年度	75.6 H29年度	41.8 H31年度
	安心して暮らせる住環境に対する満足度 単位: %	13.3 H24年度	59.3 H29年度	27.2 H31年度



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 主要な生活道路の整備、新市民病院を中心とした周辺のアクセス道路の整備や健康づくりが行える施設の整備が実施され、医療施設の核となっている。 公園広場の整備を行い、健康づくりの施設としてや、地域住民のコミュニティの場として利用されている。 新市民病院を中心とした周辺のアクセス道路の整備や「栗宮まちづくり構想」に位置づけられた主要な生活道路の整備、健康づくりが行える施設の整備が実施されたことにより、県道大戦防小山線が混雑するようになった。 基盤整備として狭隘道路の拡幅、新設道路の整備により、通過交通量が増加したことから、安全性及び防犯性の確保が考えられる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 未整備箇所の狭隘道路の拡幅整備を図る。 通過交通量の増加に伴う安全性及び防犯性確保のため道路整備にあわせた安全対策事業等を行う。 小山市中心部の活性化・コミュニティバス等の公共交通を利用した地区内の利便性・回遊性の向上を図る。 地域のまちづくり活動が更に活発化するよう、まちづくり協議会等の地域団体と連携・調整を図りながら住民の主体的なまちづくり活動に対して引き続き支援を行う必要がある。